

本場の技を伝授

独人がハムなどの製造指導

富岡の福祉施設

今年十一月十六日、富岡市の知的障害者授産施設セルフ木工舎（金谷透施設長）をドイツ人技術者フリット

ベルト・ルーニツクさん（38）が訪れた。中国での技術指導後、立ち寄ったも

ので、薫煙機のプロگرامを丁寧に説明、ハム・ソーセージの製造指導を行った。

ルーニツクさんはドイツの調理機具メーカーに勤務。同舎では昨年四月の開



設当時から、薫煙機を使った約四十五種類のハム・ソーセージを製造、その指導を行ったルーニツクさん（右）

関係で来日が実現した。同舎はほかに菓類、米作、ジヤム製造、ブルーベリー農園なども手掛け、製品は都内の有名百貨店やレストラン

に引き取られるなど職業訓練を通じて、利用者の自立と独自の商品作りを目指している。

金谷施設長は「今回の訪問で、商品の種類が増える」と期待を語った。同施設では販売も受け付けている。問い合わせは、同施設（0274-64-1254）へ。